

# 2025(令和7)年度調査研究報告

## 2025(令和7)年度 修学旅行の実施状況調査

関東地区・東海地区・近畿地区  
各修学旅行委員会 集計・比較・考察

調査時期:2025(令和7)年6月～2025(令和7)年12月

[本調査は上記の期間に実施したため、実際の実施状況とは異なる部分があります。]

2026(令和8)年2月 発行

公益財団法人 全国修学旅行研究協会

## 目 次

1	調査研究のねらいと概要	1
(1)	調査研究のねらい	1
(2)	調査の概要	1
①	調査対象	
②	調査時期	
③	調査内容	
④	調査・集計方法	
2	2025(令和7)年度の修学旅行について	2
(1)	回答状況	2
(2)	実施概況	2
①	2025(令和7)年度の修学旅行について	2
②	実施時期	3
③	実施期間	5
④	実施学年	5
⑤	実施方面	5
⑥	都道府県別宿泊地	7
⑦	生徒一人あたりの方面別旅行費用平均額	13
⑧	生徒一人あたりの旅行費用分布	13
⑨	生徒一人あたりの交通費分布	13
⑩	生徒一人あたりの貸切バス代分布	14
⑪	生徒一人あたりの宿泊費分布	14
⑫	生徒一人あたりの体験費分布	14
⑬	生徒一人あたりの保険料分布	15
⑭	小遣い上限平均額	15
⑮	旅行方面別費用内訳平均額	15
⑯	不参加生徒について	16
(3)	2025(令和7)年度修学旅行実施までに生じた問題について	17
(4)	2026(令和8)年度修学旅行契約において、旅行会社の選定が困難でしたか	18
(5)	今後、修学旅行先として検討したい方面や地域	19
(6)	2025(令和7)年度に実施した宿泊を伴う学校行事について	21
(7)	修学旅行の新しいカタチ(これからの修学旅行)についての考え	24
3	まとめ	32

# 1 調査研究のねらいと概要

## (1) 調査研究のねらい

1958（昭和33）年10月1日の小・中学校学習指導要領告示により、修学旅行の教育課程への位置付けが明確にされてから半世紀あまり、またもや修学旅行は新たな試練に遭遇した。

2020（令和2）年初頭、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まり、所謂パンデミックが世界中に広がった。日常生活はもとより、修学旅行も次々と延期・中止などを余儀なくされた。

しかしながら、文部科学省は2020（令和2）年3月24日付事務次官通知で「修学旅行については、その教育的意義や児童生徒の心情等にも配慮いただき、当面の措置として取り止める場合においても、中止ではなく延期扱いとすることを検討いただくなどの配慮をお願いしたい」という方針を表明した。これは日本の学校教育において修学旅行が有する高い教育的価値を十二分に認めている証左である。

新型コロナウイルスが5類感染症に移行して約2年、本2025（令和7）年度は当初の計画通りの修学旅行を本格的に実施する年度となり、実施の形態も従前のかたちに復した。

しかしながら修学旅行を取り巻く環境には、極めて深刻な課題や問題が生起している。「旅行費用の高騰」、「オーバーツーリズム」そして「更に強まる危機管理要請」等がその代表的なものであるが、それに加えて「受入機関の人材不足、疲弊」、「貸切バス・タクシーの確保困難」、「旅行会社の疲弊＝営業拠点・マンパワーの減少」など、長いコロナ禍がもたらした影響もあり、教育的意義の高い修学旅行の企画や、安心・安全且つ円滑な実施を妨げている。

その点も踏まえつつ、本調査においては基本的な調査項目として実施概況、時期、日数、方面訪問地、旅行費用及び不参加生徒数等について集計・考察を行うとともに、抱えている課題にも踏み込み、本年度実施の修学旅行についてより実態に近い実施状況の把握を行うこととした。

今後も地道な調査と分析・研究を進めながら、将来的に求められる修学旅行像及びその環境づくりの一助となればと願っている。

## (2) 調査の概要

- |                 |  |
|-----------------|--|
| <b>①調査対象</b>    | 以下の三地区の公立中学校を対象 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 関東地区 5 県（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉）</li><li>・ 東海地区 3 県（愛知・岐阜・三重）※愛知県は名古屋市を除く</li><li>・ 近畿地区 2 府 4 県（大阪・兵庫・京都・滋賀・奈良・和歌山）</li></ul>   |
| <b>②調査時期</b>    | 2025（令和7）年6月～2025（令和7）年12月<br>※2025（令和7）年12月以降に実施予定の学校については回答時点での予定を調査   |
| <b>③調査内容</b>    | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 実施時期、実施期間、実施方面、旅行費用、不参加生徒等</li><li>・ 修学旅行実施までに生じた問題について</li><li>・ 旅行会社選定について</li><li>・ 修学旅行先として検討したい方面や地域</li><li>・ 宿泊を伴う学校行事について</li><li>・ 修学旅行の新しいカタチ（これからの修学旅行）についての考え</li></ul>  |
| <b>④調査・集計方法</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 関東地区、近畿地区はオンラインで調査、回答</li><li>・ 東海地区は調査用紙を配布し、オンラインで回答</li><li>・ (2)実施概況 以降は集計対象校数を基準として算出した</li><li>・ 表中の「割合」については小数点第二位以下四捨五入しているため表示上の割合の合計が100%とならないものもある</li><li>・ 特別支援学校及び高等学校附属中学校は特殊性が高いため金額の集計対象から除外した</li><li>・ 旅行方面が複数にまたがる場合は、1泊目の宿泊地を基準として実施方面を集計した</li><li>・ 諸費用（交通費・宿泊費・体験費等）の平均額算出については実施期間が2泊3日の校数を母数として用いている</li></ul> |

## 2 2025(令和7)年度の修学旅行について

### (1) 回答状況

(校・%)

	関東	東海	近畿	合計
調査校数	1,277	623	1,250	3,150
回答校数	1,277	623	1,167	3,067
回答率	100.0	100.0	93.4	97.4
集計対象校数	1,277	623	1,167	3,067

各地区の詳細

〈関東地区〉

(校・%)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
調査校数	210	147	152	408	360	1,277
回答校数	210	147	152	408	360	1,277
回答率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

〈東海地区〉

(校・%)

	愛知	岐阜	三重	合計
調査校数	297	176	150	623
回答校数	297	176	150	623
回答率	100.0	100.0	100.0	100.0

※愛知県は尾張・三河地区のみ

〈近畿地区〉

(校・%)

	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山	合計
調査校数	455	333	161	95	99	107	1,250
回答校数	406	328	161	90	97	85	1,167
回答率	89.2	98.5	100.0	94.7	98.0	79.4	93.4

### (2) 実施概況

#### ① 2025(令和7)年度の修学旅行について

(校)

	関東	東海	近畿	合計
予定通り実施	1,251	620	1,156	3,027
期日方面等を変更して実施	20		7	27
実施予定なし	6	3	4	13

※岐阜県、三重県については「期日方面等を変更して実施」の回答項目なし

○予定通り実施した学校がほぼ大勢を占めた。

○関東地区では、甲信越方面が若干減少し、近畿方面へ行く学校が増加して、更にコロナ禍前の状況に近づいたが、次年度以降については変化する可能性がある。

実施時期については、春季(5月～6月)実施が30校ほど減少し、逆に秋季(9月～10月)実施が16校ほど増加した。

ここ数年続く酷暑の影響もあったものと考ええる。

○東海地区、近畿地区でも、コロナ禍前の行先方面に戻った感が強い。

東海地区においては近畿方面への実施校が増加したが、研修先として「大阪・関西万博」を選択した学校が反映された結果である。

(関東地区)

近畿方面へ

(東海地区)

関東、近畿、中国方面へ

(近畿地区)

関東、九州、沖縄方面へ

## ② 実施時期(校数とその割合)

(校・%)

三地区	関東	東海	近畿	合計	割合
4月	52	32	130	214	7.0
5月	477	274	647	1,398	45.6
6月	398	206	328	932	30.4
7月	70	1	1	72	2.3
8月	3	0	0	3	0.1
9月	172	76	25	273	8.9
10月	22	25	30	77	2.5
11月	0	5	0	5	0.2
12月	11	1	0	12	0.4
1月	35	0	0	35	1.1
2月	31	0	2	33	1.1
3月	0	0	0	0	0.0
実施予定なし	6	3	4	13	0.4
合計校数	1,277	623	1,167	3,067	100.0

### 〈関東地区〉

(校・%)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
4月	25	18	3	0	6	52	4.1
5月	105	18	69	109	176	477	37.4
6月	36	79	31	132	120	398	31.2
7月	0	7	1	60	2	70	5.5
8月	0	0	2	0	1	3	0.2
9月	43	20	37	31	41	172	13.5
10月	0	2	6	0	14	22	1.7
11月	0	0	0	0	0	0	0.0
12月	1	0	1	9	0	11	0.9
1月	0	0	0	35	0	35	2.7
2月	0	0	0	31	0	31	2.4
3月	0	0	0	0	0	0	0.0
実施予定なし	0	3	2	1	0	6	0.5
合計校数	210	147	152	408	360	1,277	100.0

### 〈東海地区〉

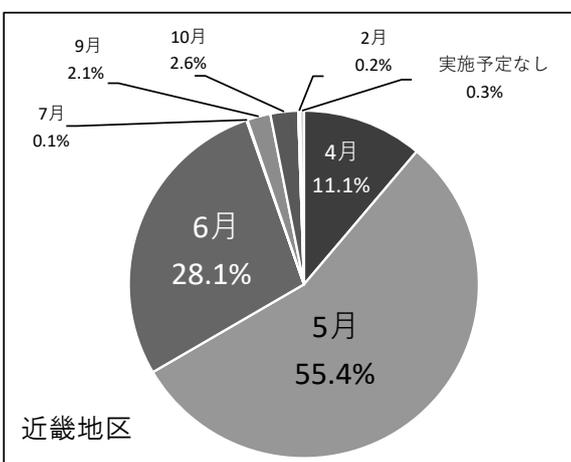
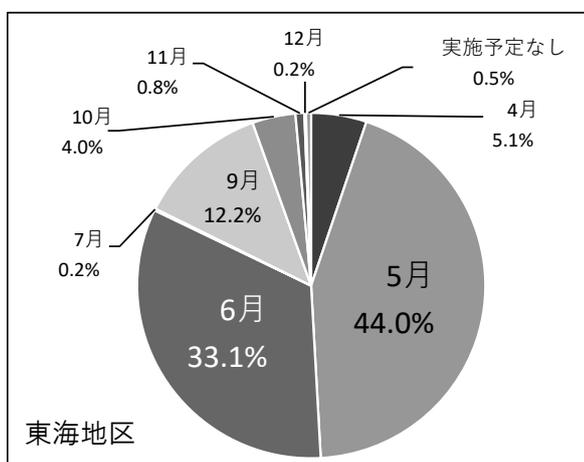
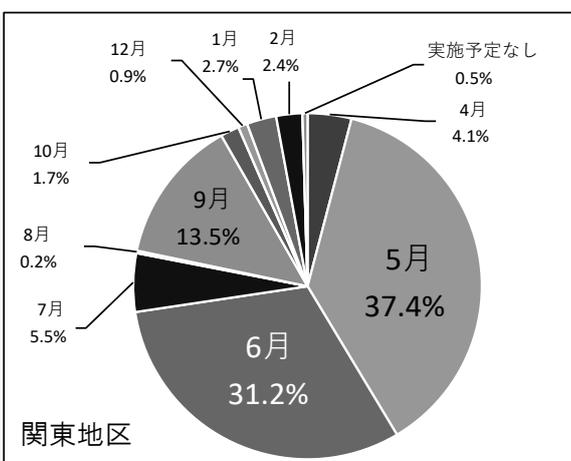
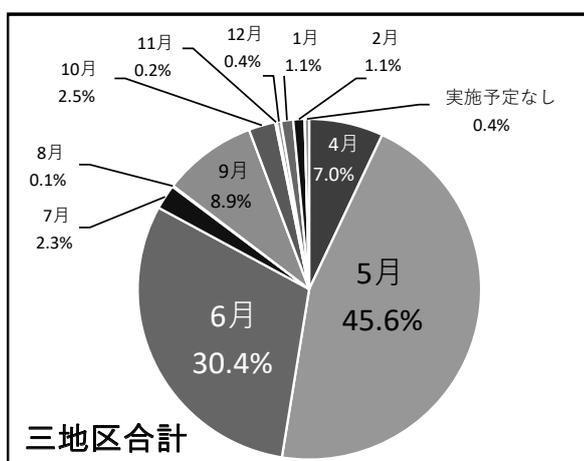
(校・%)

	愛知	岐阜	三重	合計	割合
4月	0	0	32	32	5.1
5月	128	63	83	274	44.0
6月	149	38	19	206	33.1
7月	1	0	0	1	0.2
8月	0	0	0	0	0.0
9月	18	52	6	76	12.2
10月	0	20	5	25	4.0
11月	0	2	3	5	0.8
12月	1	0	0	1	0.2
1月	0	0	0	0	0.0
2月	0	0	0	0	0.0
3月	0	0	0	0	0.0
実施予定なし	0	1	2	3	0.5
合計校数	297	176	150	623	100.0

〈近畿地区〉

(校・%)

	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山	合計	割合
4月	9	51	12	52	6	0	130	11.1
5月	192	219	115	10	76	35	647	55.4
6月	201	48	30	27	13	9	328	28.1
7月	0	0	0	0	1	0	1	0.1
8月	0	0	0	0	0	0	0	0.0
9月	3	8	1	0	0	13	25	2.1
10月	1	2	0	0	0	27	30	2.6
11月	0	0	0	0	0	0	0	0.0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0.0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2月	0	0	2	0	0	0	2	0.2
3月	0	0	0	0	0	0	0	0.0
実施予定なし	0	0	1	1	1	1	4	0.3
合計校数	406	328	161	90	97	85	1,167	100.0



○関東・東海・近畿地区ともに、前年度同様、春季(4月～7月)に実施した学校の割合が高く、従前の実施時期の傾向に戻った。(約85.3%)

○夏秋以降に実施した学校が一定数発生しているが、9月中の実施校割合が高い。  
9月及び10月の実施校数が、関東、近畿地区を中心に前年度より64校ほど増加している。  
(但し、近畿地区の調査対象校数が65校増加している)

### ③実施期間

(校・%)

	関東	東海	近畿	合計	割合
1泊2日	0	17	2	19	0.6
2泊3日	1,271	597	1,154	3,022	98.5
3泊以上	0	6	7	13	0.4
実施予定なし	6	3	4	13	0.4
合計校数	1,277	623	1,167	3,067	100.0

### ④実施学年

(校・%)

	関東	東海	近畿	合計	割合
3年生	1,195	604	1,146	2,945	96.0
2年生	76	14	9	99	3.2
1年生	0	0	1	1	0.0
複数学年	0	2	7	9	0.3
実施予定なし	6	3	4	13	0.4
合計校数	1,277	623	1,167	3,067	100.0

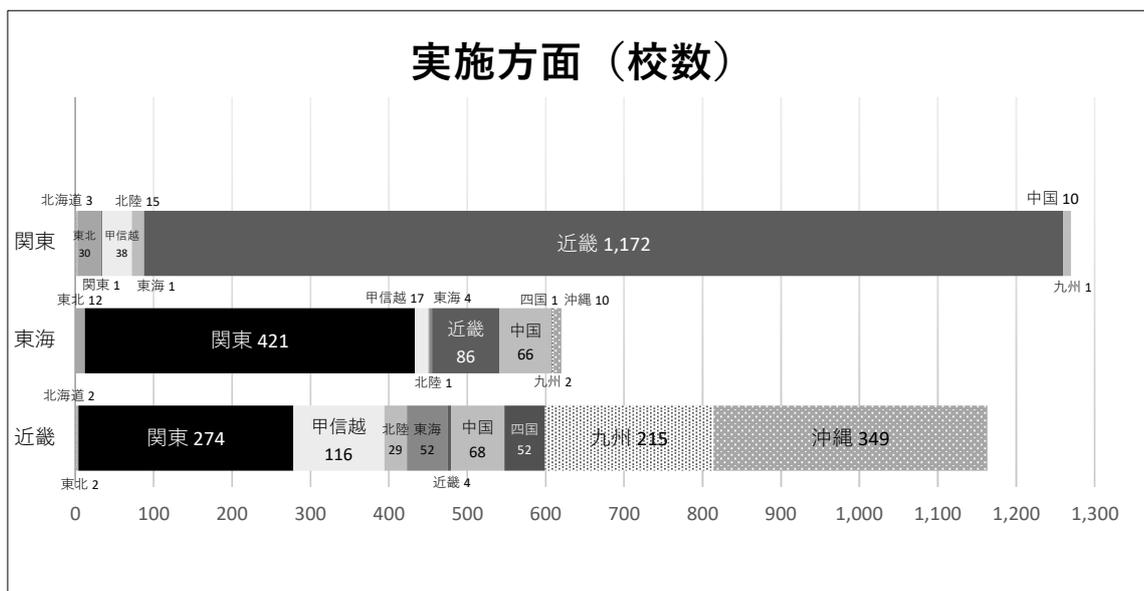
### ⑤実施方面

(校・%)

地区 方面	関東	東海	近畿	合計	割合
北海道	3	0	2	5	0.2
東北	30	12	2	44	1.4
関東	1	421	274	696	22.7
甲信越	38	17	116	171	5.6
北陸	15	1	29	45	1.5
東海	1	4	52	57	1.9
近畿	1,172	86	4	1,262	41.1
中国	10	66	68	144	4.7
四国	0	1	52	53	1.7
九州	1	2	215	218	7.1
沖縄	0	10	349	359	11.7
海外	0	0	0	0	0.0
実施予定なし	6	3	4	13	0.4
合計校数	1,277	623	1,167	3,067	100.0

※実施方面は、「⑥都道府県別宿泊地」の区分を基準とした実施方面が複数にまたがる場合は1泊目の宿泊地を適用した

## 実施方面（校数）



※海外・実施予定なしは除く

〈関東地区〉

(校・%)

方面	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
北海道	0	1	0	2	0	3	0.2
東北	0	0	0	1	29	30	2.3
関東	0	0	0	0	1	1	0.1
甲信越	0	0	0	0	38	38	3.0
北陸	0	0	1	1	13	15	1.2
東海	0	0	0	0	1	1	0.1
近畿	210	143	145	401	273	1,172	91.8
中国	0	0	4	2	4	10	0.8
四国	0	0	0	0	0	0	0.0
九州	0	0	0	0	1	1	0.1
沖縄	0	0	0	0	0	0	0.0
海外	0	0	0	0	0	0	0.0
実施予定なし	0	3	2	1	0	6	0.5
合計校数	210	147	152	408	360	1,277	100.0

〈東海地区〉

(校・%)

方面	愛知	岐阜	三重	合計	割合
北海道	0	0	0	0	0.0
東北	12	0	0	12	1.9
関東	236	95	90	421	67.6
甲信越	14	0	3	17	2.7
北陸	1	0	0	1	0.2
東海	3	0	1	4	0.6
近畿	30	43	13	86	13.8
中国	1	36	29	66	10.6
四国	0	0	1	1	0.2
九州	0	1	1	2	0.3
沖縄	0	0	10	10	1.6
海外	0	0	0	0	0.0
実施予定なし	0	1	2	3	0.5
合計校数	297	176	150	623	100.0

〈近畿地区〉

(校・%)

方面	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山	合計	割合
北海道	1	0	0	0	1	0	2	0.2
東北	2	0	0	0	0	0	2	0.2
関東	8	125	39	14	9	79	274	23.5
甲信越	55	21	27	11	2	0	116	9.9
北陸	21	5	0	1	2	0	29	2.5
東海	42	6	3	1	0	0	52	4.5
近畿	0	3	0	0	0	1	4	0.3
中国	43	2	8	8	6	1	68	5.8
四国	46	4	1	1	0	0	52	4.5
九州	62	95	33	11	12	2	215	18.4
沖縄	126	67	49	42	64	1	349	29.9
実施予定なし	0	0	1	1	1	1	4	0.3
合計校数	406	328	161	90	97	85	1,167	100.0

⑥都道府県別宿泊地 ※海外・実施予定なしは除く

〈関東地区〉

宿泊校数

(校)

方面	宿泊 都道府県	一泊目					一泊目 合計	二泊目					二泊目 合計
		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	
北海道	北海道		1		2		3		1		2		3
東北	青森						0						0
	岩手					1	1					1	1
	宮城				1	2	3				1	1	2
	秋田						0						0
	山形						0						0
	福島					26	26					27	27
	小計	0	0	0	1	29	30	0	0	0	1	29	30
関東	茨城						0						0
	栃木						0					1	1
	群馬						0						0
	埼玉						0						0
	千葉						0						0
	東京					1	1						0
	神奈川						0						0
	小計	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
甲信越	山梨					2	2					3	3
	新潟					1	1					1	1
	長野					35	35					34	34
	小計	0	0	0	0	38	38	0	0	0	0	38	38
北陸	富山					1	1						0
	石川			1	1	11	13			1		11	12
	福井					1	1				1	2	3
	小計	0	0	1	1	13	15	0	0	1	1	13	15
東海	岐阜					1	1					1	1
	静岡						0						0
	愛知						0						0
	三重						0						0
	小計	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
近畿	滋賀	1		2	3	11	17	2	1	2	3	11	19
	京都	196	122	140	375	238	1,071	194	138	144	395	244	1,115
	大阪	4	12	3	8	20	47	4	2	2		17	25
	兵庫		1				1						0
	奈良	9	8		15	4	36	10	2	1	5	4	22
	和歌山						0						0
	小計	210	143	145	401	273	1,172	210	143	149	403	276	1,181
中国	鳥取						0						0
	島根						0						0
	岡山						0						0
	広島			4	2	4	10					1	1
	山口						0						0
	小計	0	0	4	2	4	10	0	0	0	0	1	1
四国	徳島						0						0
	香川						0						0
	愛媛						0						0
	高知						0						0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	福岡						0						0
	佐賀						0						0
	長崎						0						0
	熊本						0						0
	大分						0						0
	宮崎						0						0
	小計	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
沖縄	沖縄						0						0
その他	車/船中泊						0						0
	合計	210	144	150	407	360	1,271	210	144	150	407	360	1,271

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

宿泊人数

(人)

方面	宿泊 都道府県	一泊目					一泊目 合計	二泊目					二泊目 合計
		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	
北海道	北海道		4		220		224		4		220		224
東北	青森						0						0
	岩手					100	100					187	187
	宮城				133	315	448				133	100	233
	秋田						0						0
	山形						0						0
	福島					3,298	3,298					3,426	3,426
	小計	0	0	0	133	3,713	3,846	0	0	0	133	3,713	3,846
関東	茨城						0						0
	栃木						0					18	18
	群馬						0						0
	埼玉						0						0
	千葉						0						0
	東京					18	18						0
	神奈川						0						0
	小計	0	0	0	0	18	18	0	0	0	0	18	18
甲信越	山梨					50	50					140	140
	新潟					104	104					104	104
	長野					4,950	4,950					4,860	4,860
	小計	0	0	0	0	5,104	5,104	0	0	0	0	5,104	5,104
北陸	富山					194	194						0
	石川			86	89	1,454	1,629			86		1,529	1,615
	福井					84	84				89	203	292
	小計	0	0	86	89	1,732	1,907	0	0	86	89	1,732	1,907
東海	岐阜					208	208					208	208
	静岡						0						0
	愛知						0						0
	三重						0						0
	小計	0	0	0	0	208	208	0	0	0	0	208	208
近畿	滋賀	118		278	529	1,686	2,611	307	104	278	529	1,686	2,904
	京都	20,057	12,901	13,677	51,122	30,263	128,020	19,462	14,477	13,852	53,695	31,091	132,577
	大阪	448	1,298	343	942	2,211	5,242	448	166	309		1,729	2,652
	兵庫		34				34						0
	奈良	984	594		1,654	356	3,588	1,390	80	176	375	436	2,457
	和歌山						0						0
	小計	21,607	14,827	14,298	54,247	34,516	139,495	21,607	14,827	14,615	54,599	34,942	140,590
中国	鳥取						0						0
	島根						0						0
	岡山						0						0
	広島			317	352	453	1,122					27	27
	山口						0						0
	小計	0	0	317	352	453	1,122	0	0	0	0	27	27
四国	徳島						0						0
	香川						0						0
	愛媛						0						0
	高知						0						0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	福岡						0						0
	佐賀						0						0
	長崎						0						0
	熊本						0						0
	大分						0						0
	宮崎						0						0
	鹿児島					43	43					43	43
	小計	0	0	0	0	43	43	0	0	0	0	43	43
沖縄	沖縄						0						0
その他	車/船中泊						0						0
	合計	21,607	14,831	14,701	55,041	45,787	151,967	21,607	14,831	14,701	55,041	45,787	151,967

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

〈東海地区〉  
宿泊校数

(校)

方面	宿 泊 都道府県	一泊目			一泊目 合計	二泊目			二泊目 合計
		愛知	岐阜	三重		愛知	岐阜	三重	
北海道	北海道				0				0
東北	青森				0				0
	岩手				0				0
	宮城	6			6	6			6
	秋田				0				0
	山形				0				0
	福島	6			6				0
	小計	12	0	0	12	6	0	0	6
関東	茨城				0				0
	栃木	1			1				0
	群馬				0				0
	埼玉				0				0
	千葉	132	37	63	232	137	41	59	237
	東京	91	58	26	175	80	52	27	159
	神奈川	12		1	13	4		2	6
小計	236	95	90	421	221	93	88	402	
甲信越	山梨	14		3	17	23	1	5	29
	新潟				0				0
	長野				0	4			4
小計	14	0	3	17	27	1	5	33	
北陸	富山				0				0
	石川	1			1				0
	福井				0	1			1
小計	1	0	0	1	1	0	0	1	
東海	岐阜				0	1			1
	静岡	3			3	8			8
	愛知			1	1			1	1
	三重				0				0
小計	3	0	1	4	9	0	1	10	
近畿	滋賀				0				0
	京都			1	1				0
	大阪	26	35	2	63	24	48	30	102
	兵庫	4	8	10	22	4	15	11	30
	奈良				0				0
	和歌山				0				0
小計	30	43	13	86	28	63	41	132	
中国	鳥取				0				0
	島根	1			1	1			1
	岡山			1	1				0
	広島		36	28	64		4	1	5
	山口				0				0
小計	1	36	29	66	1	4	1	6	
四国	徳島			1	1				0
	香川				0				0
	愛媛				0		1		1
	高知				0				0
小計	0	0	1	1	0	1	0	1	
九州	福岡				0				0
	佐賀				0				0
	長崎		1	1	2		1		1
	熊本				0				0
	大分				0				0
	宮崎				0				0
鹿児島				0				0	
小計	0	1	1	2	0	1	0	1	
沖縄	沖縄			10	10			10	10
その他	車/船中泊				0			1	1
合計		297	175	148	620	293	163	147	603

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

宿泊人数

(人)

方面	宿 泊 都道府県	一泊目			一泊目 合計	二泊目			二泊目 合計
		愛知	岐阜	三重		愛知	岐阜	三重	
北海道	北海道				0				0
東北	青森				0				0
	岩手				0				0
	宮城	485			485	485			485
	秋田				0				0
	山形				0				0
	福島	1,056			1,056				0
	小 計	1,541	0	0	1,541	485	0	0	485
関東	茨城				0				0
	栃木	231			231				0
	群馬				0				0
	埼玉				0				0
	千葉	21,584	3,932	6,749	32,265	20,461	3,918	6,534	30,913
	東京	12,280	3,753	1,550	17,583	12,063	3,559	1,453	17,075
神奈川	1,689		113	1,802	377		156	533	
	小 計	35,784	7,685	8,412	51,881	32,901	7,477	8,143	48,521
甲信越	山梨	2,565		514	3,079	4,170	27	783	4,980
	新潟				0				0
	長野				0	408			408
	小 計	2,565	0	514	3,079	4,578	27	783	5,388
北陸	富山				0				0
	石川	198			198				0
	福井				0	71			71
	小 計	198	0	0	198	71	0	0	71
東海	岐阜				0	198			198
	静岡	433			433	1,638			1,638
	愛知			6	6			6	6
	三重				0				0
	小 計	433	0	6	439	1,836	0	6	1,842
近畿	滋賀				0				0
	京都			144	144				0
	大阪	4,817	4,666	192	9,675	4,613	4,773	3,819	13,205
	兵庫	705	1,156	1,200	3,061	829	1,924	884	3,637
	奈良				0				0
	和歌山				0				0
	小 計	5,522	5,822	1,536	12,880	5,442	6,697	4,703	16,842
中国	鳥取				0				0
	島根	233			233	233			233
	岡山			18	18				0
	広島		3,243	3,124	6,367		372	91	463
	山口				0				0
	小 計	233	3,243	3,142	6,618	233	372	91	696
四国	徳島			134	134				0
	香川				0				0
	愛媛				0		55		55
	高知				0				0
	小 計	0	0	134	134	0	55	0	55
九州	福岡				0				0
	佐賀				0				0
	長崎		82	61	143		82		82
	熊本				0				0
	大分				0				0
	宮崎				0				0
鹿児島				0				0	
	小 計	0	82	61	143	0	82	0	82
沖縄	沖縄			600	600			600	600
その他	車/船中泊				0			61	61
	合 計	46,276	16,832	14,405	77,513	45,546	14,710	14,387	74,643

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

(近畿地区)  
宿泊校数

(校)

方面	府県名 宿泊 都道府県	一泊目						一泊目 合計	二泊目						二泊目 合計
		大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山		大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山	
北海道	北海道	1				1	2	1					1	2	
東北	青森						0							0	
	岩手						0							0	
	宮城	1					1	1						1	
	秋田						0							0	
	山形						0							0	
	福島	1					1							0	
	小計	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	
関東	茨城						0							0	
	栃木						0							0	
	群馬						0							0	
	埼玉						0							0	
	千葉	8	87	7	10	4	32	148	17	81	16	12	5	33	164
	東京		38	32	4	5	47	126	2	42	29	3	5	45	126
	神奈川		1					1		1					1
	小計	8	126	39	14	9	79	275	19	124	45	15	10	78	291
甲信越	山梨	13	13	7	7	1		41	3	15	3	5		1	27
	新潟				2			2				1			1
	長野	41	9	20	2	1		73	42	7	20	3	1		73
	小計	54	22	27	11	2	0	116	45	22	23	9	1	1	101
北陸	富山	4			1			5	5	1					6
	石川	4	4					8	4	5		1			10
	福井	13	1			2		16	11				1		12
	小計	21	5	0	1	2	0	29	20	6	0	1	1	0	28
東海	岐阜	42	4					46	42	4					46
	静岡			2	1			3				2			2
	愛知	1	1	1				3	1		1				2
	三重							0		1					1
		小計	43	5	3	1	0	0	52	43	5	1	2	0	0
近畿	滋賀							0		1					1
	京都		1					1							0
	大阪		1				1	2		2		2			4
	兵庫							0	2			2	1	1	6
	奈良							0							0
	和歌山							0							0
	小計	0	2	0	0	0	1	3	2	3	0	4	1	1	11
中国	鳥取	6	1	1				8	7	1					8
	島根	2						2	1						1
	岡山	7	1	2			1	11	11		3	1	1		16
	広島	28		5	8	6		47	14	2	5	2	3		26
	山口							0	2						2
	小計	43	2	8	8	6	1	68	35	3	8	3	4	0	53
四国	徳島	19			1			20	15	1		1			17
	香川	3	2					5	9	1			1		11
	愛媛	11	2					13	15	1					16
	高知	13		1				14	13		1	1			15
	小計	46	4	1	1	0	0	52	52	3	1	2	1	0	59
九州	福岡	1	2	2				5		4	1	2			7
	佐賀	5	9	1				15	5	10	3	3	2		23
	長崎	49	72	29	11	12	2	175	49	65	26	6	10	2	158
	熊本	5	2					7	3	5	2				10
	大分		2	1				3	1	2	1				4
	宮崎							0							0
	小計	62	95	33	11	12	2	215	62	94	33	11	12	2	214
沖縄	沖縄	126	67	49	42	64	1	349	126	66	49	41	64	2	348
その他	車/船中泊							0		1		1			2
	合計	406	328	160	89	96	84	1,163	406	327	160	89	95	84	1,161

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

宿泊人数

(人)

方面	府県名 宿泊 都道府県	一泊目						一泊目 合計	二泊目						二泊目 合計	
		大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山		大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山		
北海道	北海道	95				19		114	95					19		114
東北	青森							0								0
	岩手							0								0
	宮城	184						184	184							184
	秋田							0								0
	山形							0								0
	福島	191						191								191
	小計	375	0	0	0	0	0	375	184	0	0	0	0	0	184	
関東	茨城							0								0
	栃木							0								0
	群馬							0								0
	埼玉							0								0
	千葉	692	9,406	564	1,228	382	3,019	15,291	2,282	8,959	1,680	1,010	473	2,852	17,256	
	東京		2,799	2,182	462	64	1,912	7,419	253	3,140	1,792	280	64	1,966	7,495	
	神奈川		55					55		138					138	
	小計	692	12,260	2,746	1,690	446	4,931	22,765	2,535	12,237	3,472	1,290	537	4,818	24,889	
甲信越	山梨	2,051	2,005	882	884	91		5,913	399	2,028	330	864		113	3,734	
	新潟				121			121				100			100	
	長野	5,854	1,538	2,937	425	41		10,795	5,952	1,226	2,937	592	41		10,748	
	小計	7,905	3,543	3,819	1,430	132	0	16,829	6,351	3,254	3,267	1,556	41	113	14,582	
北陸	富山	484			118			602	697	122					819	
	石川	578	991					1,569	623	1,211		118			1,952	
	福井	1,971	63			180		2,214	1,479				54		1,533	
	小計	3,033	1,054	0	118	180	0	4,385	2,799	1,333	0	118	54	0	4,304	
東海	岐阜	5,614	717					6,331	5,750	827					6,577	
	静岡			174	105			279				379			379	
	愛知	165	240	22				427	165		22				187	
	三重							0		100					100	
	小計	5,779	957	196	105	0	0	7,037	5,915	927	22	379	0	0	7,243	
近畿	滋賀							0		63					63	
	京都		29					29							29	
	大阪		43				9	52		72		271			343	
	兵庫							0	191			354	11	143	699	
	奈良							0							0	
	和歌山							0							0	
	小計	0	72	0	0	0	9	81	191	135	0	625	11	143	1,105	
中国	鳥取	662	168	161				991	768	168					936	
	島根	274						274	168						168	
	岡山	1,002	140	157			143	1,442	1,491		443	110	94		2,138	
	広島	3,331		759	968	483		5,541	1,864	264	634	171	169		3,102	
	山口							0	98						98	
	小計	5,269	308	1,077	968	483	143	8,248	4,389	432	1,077	281	263	0	6,442	
四国	徳島	2,335			61			2,396	2,006	108		61			2,175	
	香川	307	341					648	1,288	233			209		1,730	
	愛媛	1,804	328					2,132	2,032	204					2,236	
	高知	1,988		116				2,104	1,797		116	62			1,975	
	小計	6,434	669	116	61	0	0	7,280	7,123	545	116	123	209	0	8,116	
九州	福岡	99	119	278				496		481	148	53			682	
	佐賀	672	1,665	76				2,413	747	1,584	352	811	298		3,792	
	長崎	6,443	10,352	3,228	1,808	1,709	140	23,680	6,368	9,509	2,876	944	1,411	140	21,248	
	熊本	796	155					951	512	652	259				1,423	
	大分		220	148				368	99	268	95				462	
	宮崎							0							0	
	小計	8,478	13,474	3,730	1,808	1,709	140	29,339	8,478	13,457	3,730	1,808	1,709	140	29,322	
沖縄	沖縄	17,512	8,037	5,790	5,538	5,938	43	42,858	17,512	7,930	5,790	5,479	5,938	52	42,701	
その他	車/船中泊							0		17		59			76	
	合計	55,572	40,374	17,474	11,718	8,907	5,266	139,311	55,572	40,267	17,474	11,718	8,781	5,266	139,078	

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

※以下の⑦から⑯までの諸表については国内2泊3日で修学旅行を実施した学校を対象として算出

⑦生徒一人あたりの方面別旅行費用平均額

(円)

地区 旅行方面	関東	東海	近畿
北海道	74,036	-	77,973
東北	54,481	81,887	64,362
関東	50,524	65,790	68,790
甲信越	54,775	62,062	56,500
北陸	66,222	53,047	52,474
東海	53,950	61,045	53,412
近畿	73,315	63,137	52,054
中国	78,173	72,403	58,300
四国	-	52,248	54,034
九州	78,000	74,630	62,995
沖縄	-	83,299	69,170
総平均額	72,242	66,500	64,184

⑧生徒一人あたりの旅行費用分布（校数と割合）

(校・%)

旅行費用（円）	関東	東海	近畿	合計	割合
30,000未満	0	0	0	0	0.0
30,000～	0	0	0	0	0.0
35,000～	1	0	0	1	0.0
40,000～	4	1	6	11	0.4
45,000～	10	6	43	59	2.0
50,000～	27	31	130	188	6.2
55,000～	80	63	222	365	12.1
60,000～	143	150	249	542	17.9
65,000～	239	173	226	638	21.1
70,000～	257	103	141	501	16.6
75,000～	196	36	83	315	10.4
80,000～	169	19	34	222	7.3
85,000～	116	7	13	136	4.5
90,000～	20	4	2	26	0.9
95,000～	9	1	1	11	0.4
100,000～	0	3	4	7	0.2
合計校数	1,271	597	1,154	3,022	100.0

⑨生徒一人あたりの交通費（貸切バス代除く）分布（校数と割合）

(校・%)

交通費（円）	関東	東海	近畿	合計	割合
5,000未満	22	72	54	148	5.5
5,000～	4	66	25	95	3.5
10,000～	113	118	89	320	11.8
15,000～	202	160	242	604	22.4
20,000～	271	55	147	473	17.5
25,000～	323	24	385	732	27.1
30,000～	161	6	23	190	7.0
35,000～	74	3	2	79	2.9
40,000～	47	1	0	48	1.8
45,000～	11	0	0	11	0.4
50,000～	2	0	0	2	0.1
合計校数	1,230	505	967	2,702	100.0

総平均額（円）	24,858	13,908	21,129
---------	--------	--------	--------

⑩生徒一人あたりの貸切バス代分布（校数と割合）

(校・%)

貸切バス代（円）	関東	東海	近畿	合計	割合
5,000未満	215	18	47	280	9.6
5,000～	484	144	262	890	30.4
10,000～	370	270	596	1,236	42.2
15,000～	128	104	207	439	15.0
20,000～	15	22	26	63	2.2
25,000～	4	4	3	11	0.4
30,000～	0	1	0	1	0.0
35,000～	2	0	1	3	0.1
40,000～	1	0	2	3	0.1
45,000～	0	1	0	1	0.0
50,000～	1	2	0	3	0.1
合計校数	1,220	566	1,144	2,930	100.0

総平均額（円）	9,542	12,552	12,231
---------	-------	--------	--------

⑪生徒一人あたりの宿泊費分布（校数と割合）

(校・%)

宿泊費（円）	関東	東海	近畿	合計	割合
5,000未満	0	0	1	1	0.0
5,000～	0	0	3	3	0.1
10,000～	7	11	25	43	1.4
15,000～	144	100	442	686	22.7
20,000～	723	347	584	1,654	54.7
25,000～	349	111	94	554	18.3
30,000～	44	25	4	73	2.4
35,000～	1	3	1	5	0.2
40,000～	2	0	0	2	0.1
45,000～	1	0	0	1	0.0
50,000～	0	0	0	0	0.0
合計校数	1,271	597	1,154	3,022	100.0

総平均額（円）	23,650	22,818	20,761
---------	--------	--------	--------

⑫生徒一人あたりの体験費分布（校数と割合）

(校・%)

体験費（円）	関東	東海	近畿	合計	割合
2,000未満	404	42	120	566	19.6
2,000～	519	71	178	768	26.6
4,000～	204	191	294	689	23.8
6,000～	59	97	196	352	12.2
8,000～	19	58	122	199	6.9
10,000～	13	22	103	138	4.8
12,000～	5	10	67	82	2.8
14,000～	2	15	45	62	2.1
16,000～	0	2	18	20	0.7
18,000～	1	1	4	6	0.2
20,000～	3	3	3	9	0.3
合計校数	1,229	512	1,150	2,891	100.0

※東海地区の愛知県は入場料を含めず調査

総平均額（円）	3,075	6,022	6,685
---------	-------	-------	-------

⑬生徒一人あたりの保険料分布（校数と割合）

(校・%)

保険料（円）	関東	東海	近畿	合計	割合
500未満	633	364	776	1,773	59.7
500～	524	180	328	1,032	34.7
1,000～	50	35	21	106	3.6
1,500～	13	5	11	29	1.0
2,000～	13	2	3	18	0.6
2,500～	3	0	2	5	0.2
3,000～	0	1	1	2	0.1
3,500～	5	1	1	7	0.2
合計校数	1,241	588	1,143	2,972	100.0

総平均額（円）	580	491	462
---------	-----	-----	-----

⑭小遣い上限 平均額

(円)

年度	関東	東海	近畿
2025（令和7）	15,366	15,837	11,458
2024（令和6）	14,675	14,733	10,265
2023（令和5）	14,043	13,791	9,549

⑮旅行方面別費用内訳平均額

〈関東地区〉

(円)

費用項目	宿泊費	交通費 (バス代除)	貸切 バス代	体験 活動費	保険料
旅行方面					
北海道	21,989	26,567	9,169	5,603	1,259
東北	22,324	4,575	16,373	4,532	590
関東	20,472	600	13,869	7,100	524
甲信越	22,471	5,918	14,902	6,104	372
北陸	25,047	17,390	10,881	2,378	391
東海	24,200	-	14,465	3,420	209
近畿	23,704	25,389	9,176	2,947	586
中国	24,856	31,900	6,270	1,751	431
四国	-	-	-	-	-
九州	19,800	30,000	15,873	6,888	3,616
沖縄	-	-	-	-	-

※旅行方面は、1泊目の宿泊地を基準として集計しているため、各費用項目には旅行方面が複数に渡る場合のものも含む

〈東海地区〉

(円)

費用項目	宿泊費	交通費 (バス代除)	貸切 バス代	体験 活動費	保険料
旅行方面					
北海道	-	-	-	-	-
東北	23,687	20,805	12,057	4,165	760
関東	22,407	12,608	11,937	6,449	502
甲信越	21,501	10,308	13,754	5,337	498
北陸	24,200	-	14,101	10,290	346
東海	24,173	7,600	16,459	5,578	667
近畿	24,617	12,373	14,176	6,032	407
中国	24,512	19,833	11,679	4,641	476
四国	23,100	-	14,353	3,695	346
九州	24,570	14,290	19,383	3,300	313
沖縄	16,329	30,574	26,030	2,427	600

※旅行方面は、1泊目の宿泊地を基準として集計しているため、各費用項目には旅行方面が複数に渡る場合のものも含む

〈近畿地区〉

(円)

費用項目	宿泊費	交通費 (バス代除)	貸切 バス代	体験 活動費	保険料
旅行方面					
北海道	19,800	38,260	10,421	2,410	328
東北	18,951	24,210	10,949	3,030	90
関東	22,045	19,565	9,968	7,757	484
甲信越	19,660	11,158	14,254	11,601	409
北陸	22,270	1,596	14,479	8,642	330
東海	21,094	5,022	14,429	10,746	338
近畿	23,780	8,150	6,292	9,577	150
中国	22,891	9,538	14,580	7,152	371
四国	21,086	5,236	13,724	11,255	295
九州	20,283	19,391	12,635	4,210	481
沖縄	19,770	28,004	11,905	4,187	529

※旅行方面は、1泊目の宿泊地を基準として集計しているため、各費用項目には旅行方面が複数に渡る場合のものも含む

⑯不参加生徒について（複数回答）

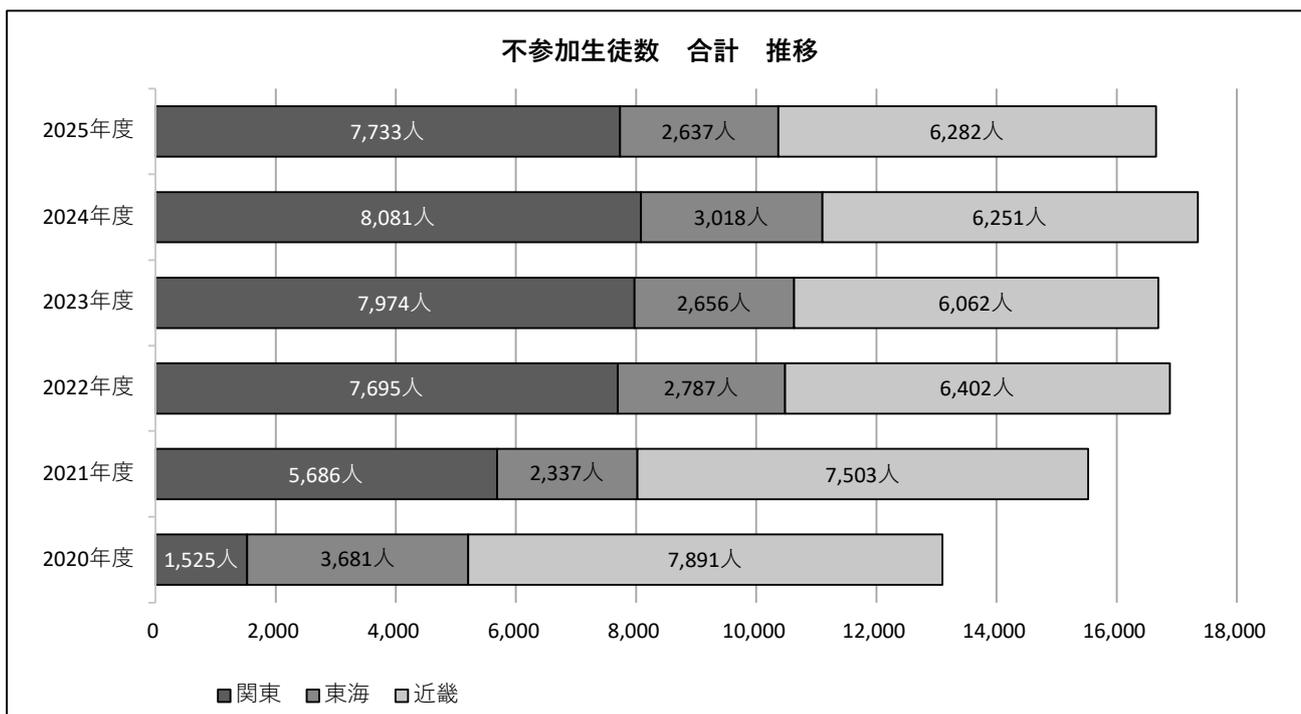
(校・人・%)

	関東		東海		近畿		合計	割合
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
不参加生徒	1,132	7,733	503	2,637	1,023	6,282	2,658	16,652
集計対象校数比	88.6		80.7		87.7		86.7	

(校・人)

(不参加理由別内訳)	関東		東海		近畿		合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
保護者判断	277	598	67	223	150	281	494	1,102
経済的理由	120	186	55	209	38	74	213	469
不登校	915	4,911	429	1,752	851	4,330	2,195	10,993
疾病	219	325	64	83	234	436	517	844
部活動	32	63	-	-	16	21	48	84
個人活動	64	78	-	-	61	76	125	154
参加同意なし	-	-	47	200	-	-	47	200
その他	155	342	47	79	148	232	350	653

※内訳不明・理由重複があるため、校数・人数とも総数とは合致しない



- 旅行費用平均額が、前年度の平均額から2,422円増加している。  
(対前年の増減 関東地区:2,460円増加、東海地区:対1,939円増加、近畿地区:2,867円増加)
- 2020年度についてはコロナ禍により修学旅行の中止が最も多発した年度でもあり、あくまで参考数値の域を出ないが、不参加生徒数はコロナ禍発生以来、増加が続いていた。  
2025年度については、前年の2024年度と比較して、関東、東海地区で微減、近畿地区で微増の結果であり、三地区全体では698名の減少となった。  
コロナ禍以前(2019年度)との比較では7,403名増加となっている。
- 不参加の理由別内訳のなかで、経済的理由による不参加生徒数は前年の2024年度の人数より140名の増加となっている。  
他の理由による不参加生徒数及び全体数が減少している状況下で顕著な状況である。  
やはり、旅行費用の高騰などがかなりの影響を及ぼしているのであろうか。  
また、個人活動を理由とした不参加者も若干名だが増加している。

(3) 2025(令和7)年度修学旅行実施までに生じた問題について(複数回答)

(校・%)

内容	関東	東海	近畿	合計	割合
なし	259	44	227	530	19.7
費用の高騰	874	256	855	1,985	73.8
主たる移動手段としてのバス確保	75	48	161	284	10.6
最寄り駅(空港)までの移動手段としてのバス確保	20	16	75	111	4.1
希望宿泊場所の確保	103	29	120	252	9.4
希望体験施設の確保	68	45	108	221	8.2
希望食事場所の確保	54	25	49	128	4.8
食物アレルギー対応	174	55	260	489	18.2
その他	106	18	75	199	7.4

回答校数	関東	東海	近畿	合計
	1,206	318	1,167	2,691

※任意回答のため、回答数を母数として割合を算出した

※愛知県は本調査実施なし

〈関東地区〉

(校・%)

内容	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
なし	55	35	22	86	61	259	21.5
費用の高騰	132	95	122	280	245	874	72.5
主たる移動手段としてのバス確保	3	6	10	32	24	75	6.2
最寄り駅(空港)までの移動手段としてのバス確保	1	1	3	7	8	20	1.7
希望宿泊場所の確保	14	14	9	30	36	103	8.5
希望体験施設の確保	14	9	7	12	26	68	5.6
希望食事場所の確保	6	8	4	10	26	54	4.5
食物アレルギー対応	25	16	21	49	63	174	14.4
その他	13	11	7	32	43	106	8.8

その他(主な意見を抜粋)

- ・大阪関西万博の対応(情報不足・情報収集・見学地変更・保護者説明・安全対策・パビリオン予約・キャッシュレス対応)
- ・旅行代金の集金(費用の未払い)
- ・タクシーの確保/貸切バスの駐車場確保
- ・LGBTQに係る生徒への対応
- ・宗教上問題(食事対応等)
- ・熱中症対策/物価高騰対策/オーバーツーリズム混雑問題
- ・台風などの自然災害時の対応
- ・宿泊施設廃業に伴う宿泊先変更対応/宿泊先で食中毒発生に伴う食事内容変更と保護者対応
- ・部活動大会との旅行日程重複
- ・旅行会社の対応(意思疎通・調整・小規模校・担当者の変更)

〈東海地区〉

(校・%)

内容	岐阜	三重	合計	割合
なし	32	12	44	13.8
費用の高騰	130	126	256	80.5
主たる移動手段としてのバス確保	27	21	48	15.1
最寄り駅(空港)までの移動手段としてのバス確保	7	9	16	5.0
希望宿泊場所の確保	15	14	29	9.1
希望体験施設の確保	28	17	45	14.2
希望食事場所の確保	10	15	25	7.9
食物アレルギー対応	34	21	55	17.3
その他	9	9	18	5.7

※愛知県は本調査実施なし

その他(主な意見を抜粋)

- ・大阪関西万博の対応(情報不足・情報収集・見学地変更・下見)
- ・貸切バスの駐車場確保
- ・旅行直前の感染症対策
- ・スマートフォン対応(所持・キャッシュレス)
- ・旅行会社の対応(意思疎通・調整・小規模校)

〈近畿地区〉

(校・%)

内容	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山	合計	割合
なし	95	44	33	14	18	23	227	19.5
費用の高騰	279	264	115	69	69	59	855	73.3
主たる移動手段としてのバス確保	65	38	22	14	12	10	161	13.8
最寄り駅(空港)までの移動手段としてのバス確保	24	20	11	9	8	3	75	6.4
希望宿泊場所の確保	47	32	11	11	8	11	120	10.3
希望体験施設の確保	37	38	11	9	4	9	108	9.3
希望食事場所の確保	9	22	8	1	0	9	49	4.2
食物アレルギー対応	96	77	36	24	14	13	260	22.3
その他	26	18	12	10	8	1	75	6.4

その他(主な意見を抜粋)

- ・旅行代金の集金(費用の未払い)
- ・物価高騰対策(タクシーの台数削減・添乗員数削減)
- ・班別学習用タクシーの確保
- ・医療的ケア生徒の対応
- ・転入生徒の対応(飛行機の座席確保)
- ・個別対応の多様性(班決め)
- ・スマートフォン対応(所有許可)
- ・宿泊先(ホテル、民泊)の不祥事に伴う宿泊先変更対応/動物アレルギーに伴う民泊先調整
- ・旅行会社の対応(小規模校・調整・不適切な対応・指名停止・添乗員の変更)

(4) 2026(令和8)年度修学旅行契約において、旅行会社の選定が困難でしたか

(校・%)

内容	関東	東海	近畿	合計	割合
困難だった	146	76	261	483	18.3
困難ではなかった	1,057	234	868	2,159	81.7

※任意回答のため、回答数を母数として割合を算出した

※愛知県は本調査実施なし

(5) 今後、修学旅行先として検討したい方面や地域(複数回答)

〈関東地区〉

(校・%)

方面・地域	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
なし	39	27	33	97	55	251	19.7
北海道	26	57	9	69	27	188	14.7
東北	47	33	23	95	115	313	24.5
北関東	2	1	0	2	21	26	2.0
東京・千葉・神奈川	6	3	1	2	4	16	1.3
伊豆・箱根・富士	5	3	1	3	10	22	1.7
清里・諏訪	3	0	0	0	32	35	2.7
白馬・安曇野・黒部	5	3	1	3	62	74	5.8
金沢・能登	45	30	56	139	100	370	29.0
福井・滋賀	6	2	8	20	13	49	3.8
京都・奈良	123	82	88	200	174	667	52.2
大阪・神戸	41	13	14	42	57	167	13.1
瀬戸内	0	0	2	2	5	9	0.7
四国	2	1	1	2	2	8	0.6
広島	28	12	30	54	65	189	14.8
長崎	3	0	0	6	10	19	1.5
福岡	2	0	0	1	2	5	0.4
沖縄	8	4	1	12	11	36	2.8
その他	2	0	1	2	3	8	0.6

その他 ・長野/岐阜/愛知/海外(マレーシア)

〈東海地区〉

(校・%)

方面・地域	岐阜	三重	合計	割合
なし	46	18	64	19.6
北海道	3	3	6	1.8
東北	2	3	5	1.5
北関東	0	1	1	0.3
東京・千葉・神奈川	86	74	160	49.1
伊豆・箱根・富士	2	9	11	3.4
清里・蓼科・諏訪	2	1	3	0.9
白馬・安曇野・松本	1	6	7	2.1
立山・黒部	1	0	1	0.3
金沢・能登	1	8	9	2.8
福井・滋賀	1	6	7	2.1
奈良・京都	0	7	7	2.1
大阪・兵庫	51	64	115	35.3
南紀	0	1	1	0.3
淡路島	1	12	13	4.0
小豆島	0	2	2	0.6
広島	44	60	104	31.9
四国	5	10	15	4.6
九州	4	5	9	2.8
沖縄	2	17	19	5.8
その他	1	3	4	1.2

※愛知県は本調査実施なし

その他 ・名古屋/屋久島/韓国

〈近畿地区〉

(校・%)

方面・地域	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山	合計	割合
北海道	4	10	2	0	3	1	20	1.7
東北	13	7	2	5	4	1	32	2.7
関東	52	117	58	43	26	38	334	28.6
甲信越	60	30	21	13	20	1	145	12.4
北陸	73	66	14	17	13	1	184	15.8
東海	50	49	7	10	9	1	126	10.8
近畿	24	28	3	7	3	2	67	5.7
中国	100	39	25	24	10	9	207	17.7
四国	106	51	10	18	15	2	202	17.3
北九州	75	117	54	19	28	13	306	26.2
南九州（鹿児島・宮崎）	40	76	6	6	11	1	140	12.0
沖縄	111	87	30	24	30	21	303	26.0
海外	0	1	0	0	2	2	5	0.4
現行のまま	89	81	46	14	27	40	297	25.4
実施予定なし	1	1	1	1	1	0	5	0.4

本設問は、各地区で現在実施している修学旅行先から、今後検討したい方面や地域の意見をまとめたものである。

学校はコロナ禍での修学旅行実施のために、日帰りや日程短縮、混雑を避けた旅行方面の選定等、様々な工夫を経験してきた。そして今はコロナ収束後に残された問題である「物価の高騰」「人手不足」「オーバーツーリズム」などの問題に直面している。

この現状を踏まえ、後述の自由記述にも多くの意見として「旅行方面の検討」が寄せられている。教育面でも、費用面でも従来の修学旅行では、その目的を達成することが出来ないという考えが一因にある。

一方で、修学旅行を今後も子供たちの成長の貴重な機会として持続するために、新しい修学旅行のカタチを模索する動きがあり、様々な旅行先が候補地としてあげられている。

※注 検討したい方面や地域の割合は、既に旅行方面変更に向けて動いているというのではなく、新たな修学旅行先として“興味を持っている”という認識に近い。

(例) 大半の学校が近畿方面(京都・奈良)の修学旅行を実施している関東地区の今後検討したい方面や地域の「京都・奈良」の割合52.2%について、47.8%の学校が他方面の実施を考えているというものではない。

(6) 2025(令和7)年度に実施した宿泊を伴う学校行事について

○宿泊行事実施校数

(校・%)

	関東	東海	近畿	合計	割合
第1学年	502	84	335	921	33.2
第2学年	635	163	157	955	34.5
第3学年	1,198	312	0	1,510	54.5

※愛知県は本調査実施なし  
※近畿地区については修学旅行を除く

〈関東地区〉

【第1学年】

○実施内容（複数回答）

(校・%)

内容	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
オリエンテーション	4	7	5	8	2	26	2.0
自然体験・野外学習	20	62	92	31	17	222	17.4
スキー	120	0	0	141	11	272	21.3
その他	2	1	3	0	4	10	0.8

その他 ・ホームステイ/職業体験

○実施内容と「総合的な学習の時間（探究学習）」との関連付け

(校・%)

内容	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
関連付けている	57	45	60	106	22	290	22.7
一部、関連付けている	62	17	27	58	8	172	13.5
関連付けていない	22	4	6	7	1	40	3.1

○主な行き先（複数回答）

福島県/栃木県/群馬県/新潟県/長野県

【第2学年】

○実施内容（複数回答）

(校・%)

内容	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
研修・修学旅行	8	5	1	75	17	106	8.3
自然体験・野外学習	40	19	10	104	187	360	28.2
スキー	22	50	12	62	33	179	14.0
その他	3	6	1	0	9	19	1.5

その他 ・異文化体験/企業訪問/防災、震災学習/立志式

○実施内容と「総合的な学習の時間（探究学習）」との関連付け

(校・%)

内容	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
関連付けている	36	46	10	136	136	364	28.5
一部、関連付けている	28	29	10	88	87	242	19.0
関連付けていない	6	3	4	8	8	29	2.3

○主な行き先（複数回答）

北海道/福島県/栃木県/群馬県/千葉県/山梨県/長野県/京都府/奈良県

【第3学年】

○実施内容（複数回答）

(校・%)

内容	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
研修・修学旅行	209	144	150	332	360	1,195	93.6
自然体験・野外学習	0	0	0	0	0	0	0.0
スキー	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	0	0	2	1	0	3	0.2

その他 ・海外研修

○実施行事内容と「総合的な学習の時間（探究学習）」との関連付け

(校・%)

内容	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
関連付けている	131	112	117	228	231	819	64.1
一部、関連付けている	69	31	33	103	124	360	28.2
関連付けていない	9	1	2	2	5	19	1.5

○主な行き先（複数回答）

北海道/宮城県/長野県/石川県/京都府/大阪府/奈良県/広島県/鹿児島県/オーストラリア

〈東海地区〉

※愛知県は本調査実施なし

【第1学年】

○実施内容（複数回答）

(校・%)

内容	岐阜	三重	合計	割合
オリエンテーション	2	2	4	1.2
自然体験・野外学習	55	26	81	24.8
スキー	0	2	2	0.6
その他	2	1	3	0.9

その他 ・都市研修／町づくり講話／謎解きツアー

○実施内容と「総合的な学習の時間（探究学習）」との関連付け

(校・%)

内容	岐阜	三重	合計	割合
関連付けている	29	18	47	14.4
一部、関連付けている	22	10	32	9.8
関連付けていない	5	0	5	1.5

○主な行き先（複数回答）

長野県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県

【第2学年】

○実施内容（複数回答）

(校・%)

内容	岐阜	三重	合計	割合
研修・修学旅行	27	14	41	12.6
自然体験・野外学習	124	0	124	38.0
スキー	2	0	2	0.6
その他	4	1	5	1.5

その他 ・平和学習／職業講話／都市分散研修

○実施内容と「総合的な学習の時間（探究学習）」との関連付け

(校・%)

内容	岐阜	三重	合計	割合
関連付けている	85	7	92	28.2
一部、関連付けている	61	6	67	20.6
関連付けていない	4	0	4	1.2

○主な行き先（複数回答）

石川県／福井県／岐阜県／滋賀県／大阪府／広島県

【第3学年】

○実施内容（複数回答）

(校・%)

内容	岐阜	三重	合計	割合
研修・修学旅行	175	137	312	95.7
自然体験・野外学習	1	1	2	0.6
スキー	0	0	0	0.0
その他	0	0	0	0.0

○実施内容と「総合的な学習の時間（探究学習）」との関連付け

(校・%)

内容	岐阜	三重	合計	割合
関連付けている	112	75	187	57.4
一部、関連付けている	60	61	121	37.1
関連付けていない	3	1	4	1.2

○主な行き先（複数回答）

石川県／福井県／岐阜県／静岡県／愛知県／滋賀県／大阪府／広島県

〈近畿地区〉

※近畿地区については修学旅行を除く

【第1学年】

○実施内容（複数回答）

(校・%)

内容	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山	合計	割合
オリエンテーション	71	30	1	1	0	0	103	8.8
自然体験・野外学習（スキーを除く）	142	84	4	14	13	4	261	22.4
スキー	13	25	0	1	0	0	39	3.3
その他	6	5	1	0	1	0	13	1.1

その他 ・大阪関西万博／平和学習／防災、震災学習

○実施内容と「総合的な学習の時間（探究学習）」との関連付け

(校・%)

内容	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山	合計	割合
関連付けている	76	52	2	11	6	1	148	12.7
一部、関連付けている	66	53	3	9	9	5	145	12.4
関連付けていない	22	12	3	0	4	1	42	3.6

○主な行き先（複数回答）

滋賀県／京都府／大阪府／兵庫県／奈良県／和歌山県

【第2学年】

○実施内容（複数回答）

(校・%)

内容	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山	合計	割合
自然体験・野外学習（スキーを除く）	57	67	3	1	5	3	136	11.7
スキー	6	0	0	0	0	0	6	0.5
その他	10	8	1	0	4	1	24	2.1

その他 ・大阪関西万博／文化体験／職場体験／平和学習／防災、震災学習／学力向上合宿

○実施内容と「総合的な学習の時間（探究学習）」との関連付け

(校・%)

内容	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山	合計	割合
関連付けている	24	21	2	2	5	2	56	4.8
一部、関連付けている	28	36	4	1	4	2	75	6.4
関連付けていない	10	11	1	0	3	1	26	2.2

○主な行き先（複数回答）

福井県／滋賀県／京都府／大阪府／兵庫県／奈良県／和歌山県／岡山県／広島県

【第3学年】

第3学年の宿泊行事は修学旅行の実施以外なし。

○今後の修学旅行の検討やその動向等を考察する観点から、後記の自由記述の部分と併せて、学校現場より回答を収集した。

## (7) 修学旅行の新しいカタチ(これからの修学旅行)についての考え(自由記述)

※一部抜粋要約

### 👉これからの修学旅行の実施のポイント

- ◇修学旅行は、単なる「旅行」ではなく、生徒の成長を支える貴重な学習機会である。経済的格差や地域間格差を超えて、「体験格差」を埋める機会にもなりうる。
- ◇物価の高騰等による保護者負担増が大きな問題である。様々な家庭状況もあり、どの生徒も参加できる持続可能な修学旅行になるような見直しを図りたい。
- ◇学習効果と保護者負担とのバランスの取れた旅行プランを企画することが重要である。

各地区、様々な考えを自由に記述していただいた結果、主に①旅費の高騰②オーバーツーリズム③働き方改革の3要件に起因するご意見が以下の6つのカテゴリーに集約された。

- 修学旅行の方向性に言及したもの
- 実施期間の短縮、実施時期の変更に言及したもの
- 旅行方面の変更に言及したもの
- 合同・連合での実施に言及したもの
- 補助金の要請に言及したもの
- 修学旅行実施の可否に言及したもの

### 【一関東地区一】

- 修学旅行の方向性に言及したもの
  - ・ 生徒が主体的に課題を設定し、体験し、学びを深めるプログラムを組み入れた修学旅行。
  - ・ 団体で行動することにこだわらず、班別等で行き先を変えて実施する。
  - ・ 時期や方面の検討を保護者も含めて考えていくこと。
  - ・ 生徒主体で修学旅行の行く先を決定し、3年間の学習の総まとめとしての位置付けで、それに向けて系統立てた学習を行っていく。
  - ・ 修学旅行ではなく、生徒の興味関心に応じたテーマを設定する選択コース別の研修旅行という形が中学校でできないか模索してみたい。
  - ・ これからの修学旅行は、農業、林業、漁業等の第一次産業の体験学習や初めて訪れる土地でのコミュニケーションづくり体験など、自身の人生観や職業観の育成に資する修学旅行があってもよいと考える。
  - ・ 2学年合同で2年に一度、宿泊行事を実施するなどの対策が必要ではないかと考えている。
  - ・ 場所ではなく、学習内容を重視し、オーバーツーリズムの影響が少ない地域を選択する。各自治体が紹介している教育プログラムの情報を集め、生徒と一緒に、行先、内容を決定する。

□実施期間の短縮、実施時期の変更に言及したもの

- 経費の高騰から、1泊または他の行事に振り替えることも考えていく必要がある。
- 価格高騰により、方面や宿泊日数の削減または、1・2年での宿泊行事等を削減し、修学旅行費の高騰に対応していくことが必要。
- 近県での1泊2日での形もありなのではないかと考える。
- 1泊2日で実施。学習内容を可能な限り維持しながら高額な旅費を削減する。

□旅行方面の変更に言及したもの

- 修学旅行先について京都・奈良以外も検討していいのでは。
- 学校所在地の近辺で実施できる体験型の旅行が考えられるのではと思う。
- 費用の高騰を鑑み、これまでの京都・奈良方面ありきではなく保護者の意向を聞きながら、方面を決定していく。
- 旅行代金の高騰化、訪問する観光地のインバウンドによる混雑によりこれまで通りの旅行が実施できていない状況にあり、方面や内容を柔軟に変更していく必要がある。学習の価値を捉え直し、さらなる充実を目指していく必要がある。
- 費用の高騰で、京都・奈良の定番修学旅行には限界があるように思える。オーバーツーリズム、修学旅行生を受け入れてくれる旅館が少ないこと、交通事情の混雑などを鑑みると、京都・奈良に限った修学旅行ではない変更期に来ているかと感じる。
- 保護者の費用負担を考えるとともに、ねらいを明確にした上で行き先などを検討する必要がある。
- 日程や場所について、費用対効果を含めて今後行事検討委員会において審議していく。
- 旅行地の選定にあたっては、場所よりも経済的に負担の少ない条件で採用することを考えている。
- 価格高騰と旅行者の増加により、十分な学習機会が確保できない傾向にあるため、行き先の変更を検討する必要がある。

□合同・連合での実施に言及したもの

- 小規模校のため、他校との合同実施を行った。
- 少子化のため、一校単独での修学旅行が厳しい時代になってきた。交通費、食費、体験料等、高騰し年々費用も増えている。また、インバウンドにより外国人が観光地に増え、混雑した状況下での研修となり、色々と検討が必要な時代になった。現況3年の5月～6月ですが、時期をずらすことや、他校と合同等、検討する時期かと考えている。
- 小規模校単独での修学旅行は、費用高騰の点から年々難しくなっている。市内中学校が合同で実施するなど、費用の負担を少しでも軽減する方法を検討する必要がある。
- 少子化問題があるため、隣接中学校で移動手段や宿泊施設は合同で計画し、見学や散策については学校独自で計画していく。

#### □補助金の要請に言及したもの

- 小規模校のためにも、貸し切りバス代を市で出していただきたい。
- 財政に余裕がある公共団体は、宿泊費用を保護者負担無しにしたり、補助金を出したりしているので、それらを全国で同様にして欲しい。
- 修学旅行に係る費用に対しての補助の拡大を希望する。
- 国や市町村には補助制度等を考えていただきたい。
- 費用が高騰しているなか、補助金を出して保護者負担を軽減している自治体もありますが、教育格差がさらに広がるだけのように感じます。修学旅行の意義を理解してもらい、子供たちが安心して旅行に参加できる仕組みを、国として考えていただきたい。
- 保護者負担軽減に向けた、行政等からの一部補助対象となることを期待する。
- 費用が高騰しているため、修学旅行については国等からの補助を親の収入に関わらず実施していただき、総額が下がるよう要望する。このままの状況では修学旅行への親の理解が得られなくなり実施できなくなることも想定される。

#### □修学旅行実施の可否に言及したもの

- 修学旅行自体を無くしてもよいと思っている。旅費高騰、教職員の負担、生徒の安全確保などの点で、実施が非常に厳しい状況ではないかと思っている。
- 2泊3日の修学旅行が本当に必要なのか？費用高騰は大きな問題。1泊2日に縮小や、修学旅行を実施しないなどの方向性を検討する必要がある。
- 費用の高騰(保護者視点)と教員の負担(特に宿泊による責任)から、現状維持が難しいと感じる。生徒の体験学習の確保は確かに重要だが、条件がそろわない場合には、廃止も選択肢の一つ。
- 修学旅行の実施の意義が薄くなっているように思う。京都・奈良以外でもインバウンドで混雑していて、十分な体験・学習ができない状況が数年にわたり続いている。レクリエーション的な行事になっているように思われ、実施の必要性を感じない。
- 修学旅行を実施の可否、実施学年・時期・方向を考え直す時期になっているかと思う。
- 保護者の経済的負担を考えると、実施するかどうか(訪問地)を含め、多角的に検討する時期かと思う。

旅行費用の高騰、オーバーツーリズム、気候変動など、現在の修学旅行を取り巻く困難な状況を憂えるとともにその解決の一助に向けた記述は、今後の修学旅行の維持・発展に向けたたいへん貴重な提言を含むものである。

実施時期や期間、実施方面及び実施形態などの様々な部分で、従来の枠にとらわれない検討と試行の時期が到来していることを実感させる記述が多い。

特に高騰を続ける旅行費用への対応については、学校現場の様々な取り組みは勿論ではあるが、国及び地方行政の具体的な支援施策の立案、実行を要請する声が高まっている。

修学旅行は、生徒が主体的で深い学びを実践し得る貴重な教育の機会である。その教育的意義を守るため、様々な諸課題に立ち向かうべく、修学旅行に関わる全ての人々が人智を結集していく必要性を再認識させられる。

## 【一東海地区一】

### □修学旅行の方向性に言及したもの

- 学校づくりビジョンに即した修学旅行。
- 探究型もしくは、発信型の修学旅行。
- 行程の一部を個別最適な学びが実現するような学習の機会とするなど、多様な生徒の学びの機会を保障できる修学旅行。
- その土地でしか学べないことを体験できる修学旅行。
- より主体的で学びが多くするために行程を生徒自身が計画できるようにした修学旅行。
- 体験型のカリキュラムを一部取り入れた修学旅行。
- ヴァーチャルあるいは、オンラインで現地と繋いで交流する修学旅行。
- 体験型宿泊研修(漁村、山村)として、3日間共同生活をするなど、できるだけ、生徒が自分で生活を創りだせるような修学旅行。
- 受け身の学習体験中心ではなく、能動的で、現地での発信発表の場としての修学旅行。
- 受け身ではなく生徒自らが求めるものへと変化していくのではないか。学年学級規模ではなく自らの求めに応じた集団での旅行あるいはより個別化した修学旅行。

### □実施期間の短縮、実施時期の変更に言及したもの

- 物価や値段の高騰により、保護者の負担が大きくなっている。「小学校の修学旅行は1泊2日、中学校は2泊3日」というこれまでの概念を崩し、「小学校は日帰りを2回、中学校は1泊2日」という形態を模索しなければならない。
- 費用の高騰、行先における活動内容を鑑みたとき、2泊3日は見直す必要がある。研修費用にお土産やお小遣い代、食事代等を加えると一人の費用が10万を超える。
- バス代等の高騰や貧困家庭の問題に加えて、集団生活不適応生徒の増加や引率教員の負担軽減等を考慮して、3年前より1泊2日の修学旅行へ変更した。状況が変わらない限り継続を考えている。
- テーマパークを含めた2泊3日の修学旅行が必要かどうか。総合的な学習の時間としての位置けをもって日程を短くすることを考えている。
- 旅費高騰に対応するため、1泊2日へ日程を変更し、近隣中学校との抱き合わせにより、バス代の軽減を図っている。

### □旅行方面の変更に言及したもの

- 観光資源や学びの資源が多い地元への修学旅行に舵を切る必要もある。様々な体験をし、地元を知り、人との出会いにより学ぶ旅行への移行を考えている。
- 費用の高騰やインバウンドの増加による研修地の混雑などの問題がある。それらの解決のためには行先変更も考えなければならない。

#### □ 合同・連合での実施に言及したもの

- 小規模校では、単独で修学旅行を計画した場合、費用の高騰が問題となる。引率職員は生徒よりも高額となり、負担が大きい。原因には、一人当たりの企画料や貸し切りバスの費用負担が大きいことが挙げられる。また、旅行業者には、添乗員の業務改善の点から、小規模校単独の修学旅行を辞退するような動きもある。そこで、複数校の連合体で計画しようとするが、各校の事情等でなかなか進まないのが現状である。今後は、市内校長会でさらに検討し、日数の削減や移動距離を短くして活動時間を増やす新しい修学旅行を考えていきたい。
- 小規模校であるため、一人当たりの旅費負担が大きくなっている。来年度から隣の学校と連合で行くことになった。今後は3校・4校で連合していく可能性も模索する必要がある。
- 市には現在6校の中学校があるが、その内の5校は生徒数が少ないため、来年度から修学旅行業務を撤退すると伝えられた。そこで、市中学校長会が旅行会社に掛け合い、その5校が合同で修学旅行に行くようになった。但し、旅行の行程は各校に任せられている。

#### □ 修学旅行実施の可否に言及したもの

- 物価高騰はもちろん、修学旅行費に係る経費と内容(質)が必ずしも一致しない。学年全体での移動の安全確保や、アレルギー対応等、学校(教職員)が担う仕事量が、準備期間を含め当日の引率に関しても、あまりにも膨大であることから、実施の可否を検討することもやむを得ない。
- 宿泊費の高騰、バス代の高騰などによる費用面の高騰は、悩ましいことである。自治体からの補助金のアップが望めない場合、保護者負担の軽減の観点から修学旅行そのものを見直す時期に来ている。
- 物価高騰に伴う修学旅行費用の高騰で、実施の有無から検討する時が近いのではと感じている。
- 修学旅行の必要性について見直しの必要ではあるが、保護者やその他の意見からは修学旅行を中止するような流れにはならないであろう。小さな学校は旅行業者が決められないこともあるようなので、市が修学旅行を一括して契約取りまとめを行うことを求めたい。
- 費用の高騰やアレルギー等の安全面の細かな対応も含め、教職員の働き方改革も問われる時代の流れの中で、修学旅行そのものの実施の有無についても議論をしていく段階ではないかと考える。

現状打破のため、各地域・各校で様々な工夫がされている。この状況下、上記のように「実施の可否」に言及している記述は、本設問回答校の18.5%(全回答校の5.5%)に見られた。このように学校が危機感を感じている現状でこそ、「修学旅行の方向性に言及」した記述は参考になる。

旅費高騰などの実施条件悪化に加え、中体連大会時期の変更の動きなども念頭に、「市内すべての中学校において、修学旅行の在り方を見直す必要がある」といった意見も見られた。学校単独での検討だけでなく、様々なアイデアを結集する重要性は益々高まると考えられる。

## 【一近畿地区一】

### □修学旅行の方向性に言及したもの

- キャリア教育に繋がる研修旅行(企業体験・農業体験など)。
- 日常の教育課程で積み上げてきたことを現地で試す、発揮する(例えば、中学生が市町とコラボしてつくったものを販売に行くなど)形を考えたい。
- 総合的な学習の時間とのカリマネを考えると、学びの軸を持たせた修学旅行に変えていかなければならない。具体的なイメージとしては、自然保護区やエコツーリズムの現場を訪問し、持続的な社会について学んだり、世界遺産を複数巡り、地元の世界遺産との比較や保存・保持に関わる職業についてリサーチする。また、現地の学校や地域と交流し、異文化交流を図り地域課題を考えるプロジェクト学習のために、地域再興に取り組み、成果を収めた地域に出かけ、取材するなど。
- 今後、これまでの全員参加型ではない、希望制の修学旅行も検討しないといけない時代なのかもしれない。
- 地方の過疎化問題や伝統産業の継承に焦点を当て、実際に農作業や地域イベントの手伝いといった「生活体験」を通じた課題の体感が、今の日本には必要ではないかと思う。
- 総合的な学習の時間と組み合わせ、生徒が主体的に取り組み企画する修学旅行。
- 修学旅行という名称を変更し、体験学習を中心とした活動を近場で実施する。
- 地元中学校や地元住民との交流などの人的交流や社会参画に関わる体験学習などを取り入れていく必要を感じている。
- 姉妹校を提携しての継続的な相互訪問。
- 生徒数が少ない場合に、全校で宿泊体験をして、3年生の修学旅行を実施しないということも新しい形である。

### □実施期間の短縮、実施時期の変更に言及したもの

- 価格高騰のため、1泊2日実施も視野に入れる必要がある。
- 家族で行けない活動、クラスで活動する内容を入れていきたい。生徒が活動に満足するのであれば、1泊でもよいのではないかと。
- 1泊2日の方向の流れを作りたい。
- 価格の高騰に伴い、令和10年度以降、1泊2日の行程も視野に入れ検討中。
- 近場で1泊ということも負担軽減(保護者負担・教員負担)の考えからは、有ではないかと思われる。
- 2泊3日ではなく国や都道府県としても1泊や日帰りを推奨してほしい。また、教員の勤務体制を考慮した際に、泊を伴うのであれば、適切に代休や勤務の振り替えが実施できるようなハード面を整えてもらいたい。
- 物価高や社会的な状況を考えると、本当に2泊3日の修学旅行が必要かと考える。
- 1泊2日がスタンダードになれば、個別対応の負担も軽減されると感じる。
- 市の上限額が変わらないのであれば、1泊2日も視野に入れたい。

□旅行方面の変更に言及したもの

- 費用が高騰しているため、方面の変更など検討の必要性を感じる。
- 近くでも生徒の思い出に残る体験があれば修学旅行の満足度は高いことが分かった。
- 高額な費用を負担してまで必ずしも遠方にまで行く必要があるのか。
- 近隣での体験活動を重視した内容の旅行への変更。
- 交通費(特にバス代)軽減と移動時間削減のため、近畿2府4県に限定した費用対効果も考慮された修学旅行。

□合同・連合での実施に言及したもの

- 小規模校の場合、他校との合同実施も検討しなければならない。
- 小規模校で旅行業者が撤退するなか、独自の企画が必要である。
- 小規模校が単独で修学旅行を実施することの、家庭への経済的な負担増を解消するためには複数校合同での実施が考えられる。
- 令和9年度、市内3校による合同修学旅行を実施する。

□補助金の要請に言及したもの

- 修学旅行費を国や都道府県や市が補助する仕組みを作してほしい。
- 特にバス代の高騰が収まらないため、公的資金の投入が必要である。
- 物価の高騰と就学援助金の格差を検討する必要がある。
- 昨今の物価高騰、交通費・宿泊費高騰等により、旅行代金の限度額の見直し、自治体からの個人助成制度の導入を考えていくべきである。「近距離で旅行代金を下げながら体験等の内容を充実」にも限界がある。
- 修学旅行補助金制度を策定し、義務教育の修学旅行に関して、上限3万円までの半額補助を国が補填する教育予算をつけて、実施すれば、保護者への経済的負担軽減、体験活動の充実、移動時間の削減、人材の確保など余裕をもって実施が可能になるのではと考える。
- バス代の高騰等があり小規模校では修学旅行の企画・運営が困難である。助成金等の充実をお願いしたい。
- 中学生の学びの場として実施を続けていく上で、国からの何らかの援助が少しでもあればありがたい。

□修学旅行実施の可否に言及したもの

- 廃止か希望者のみの旅行へ。
- 物価高騰やバス運転手の確保等、毎年旅行会社をはじめ、学校においても苦慮しています。また、働き方改革や子育て世代の問題もあり、宿泊を伴う勤務についても毎年引率教員の問題が出てきている。そのことから、修学旅行は本当に必要なのか、それに代わるものはないのか考える必要があると思う。
- 学習効果が低いのであればいったん廃止とし、別行事を立ち上げることも視野に入れるべきと意見があった。
- 職員の働き方改革意識の拡大により、宿泊行事を今後実行していくことが困難になりつつある。
- そもそも修学旅行の役割は終わったと考え、廃止していく。

- 生徒の大部分は行きたいと考えているが、費用の高騰を理由に一部の保護者からは「行かせる必要があるのか？」との意見もあり、教師の中にも「授業を削って、事前準備や事後指導等の校務が負担である」と考える傾向が高まっている。
- 費用の高騰やアレルギー対応、自然災害等のリスクを考えた場合、修学旅行自体の学校教育における意味を再考する必要がある。
- 働き方改革を進める中、修学旅行の取組に費やす時間や労力を考えると、修学旅行を中止することも検討していくべきだと思う。

今年度実施の検証や総括を踏まえ今後の修学旅行実施に向け、学校現場からは、近年の社会情勢の変化を背景としたさまざまな声が寄せられている。交通費や宿泊費等の上昇により、従来の枠組みでの実施が難しくなりつつある中、方面や行程の工夫を重ねながら対応している実情が共有された。

また、学校規模や地域によって条件が異なり、調整に苦慮する場面も見受けられる。

今後は、現場の実態を丁寧に共有しながら、受入関係機関や旅行会社と密接に連携し相互理解のもと、持続可能な修学旅行の在り方を引き続き考えていくことが大切であるとの認識が示された。

近畿中学校長会修学旅行専門委員

### 3 まとめ

2025（令和7）年度、この三地区（関東・東海・近畿）の修学旅行の実施状況調査は18年目を迎えた。毎年、回答を寄せてくれる学校数は約3,000校、この学校数は、全国の公立中学校数の約三分之一にあたり、極めて信頼性の高い数値や内容を得ることが出来ているものとする。

その背景には、三地区の各府県市町村の中学校長会がアンケートの配布や回収方法の改善を図り、その調査の趣旨を丁寧に説明するなどの取組を積極的且つ地道に継続してきた経緯がある。

回収率はここ数年、調査対象校の96%以上を維持しており、本年度においては97.4%を達成するに至った。その原動力となった多大なご協力に対し、厚く御礼申し上げたい。

こうして得られた調査結果は、現状の修学旅行の状況を知る上でも、また研究活動や将来の修学旅行を展望していく上においても極めて貴重な資料である。と同時に、修学旅行に経済的な理由により参加できない生徒を一人でも減らすために、国庫補助金増額のための要請・陳情活動には必要不可欠且つ貴重なエビデンス・データとなっている。

また、約4年の長きに及んだコロナ禍にあって、学校がいかんして修学旅行実施のために努力を重ね、その苦しい時期を乗り越えてきたのかを示すとともに、その収束後にも依然として残る影響や、この近年、新たに生起している諸問題なども明示するものとなっている。

コロナ禍4年目となる一昨年度（2023・令和5）に感染症法の位置付けが5類に移行された。それから2年を経た本2025（令和7）年に至り、修学旅行は行先や実施時期などにおいて一部の変更を生じてはいるが、概ね当初の計画通りに実施される従前の状況にほぼ復した状況となった。

しかしながら冒頭の「調査研究のねらい」でも触れているが、「旅行費用の高騰」、「オーバーツーリズム」に代表されるような、修学旅行の実施において極めて厳しい問題が生起している。

特に「旅行費用の高騰」は続いており、旅行費用平均額は昨年度の平均額よりも更に2,422円ほど上昇している。旅行の企画、実施においてたいへん由々しき事態である。

加えて長期に及んだコロナ禍の後遺症でもある「受入機関の人材不足と疲弊」、「貸切バス・タクシーの確保困難」、「旅行会社の疲弊＝営業拠点・マンパワーの減少」などの事象も、修学旅行の安心・安全且つ円滑な実施を阻害する負の要因を為している。

修学旅行は、決して学校だけでは完遂し得ないものである。この調査における各数値や記述の内容を共有することで、修学旅行の現状とそれを取り巻く環境等を正しく認識するとともに、生徒・保護者、学校、輸送・受入機関、旅行会社など、修学旅行の実施に欠くことの出来ない関係者間の相互理解をより深め、その協働によりコロナ禍に続き生起している現在の困難な状況をも乗り越えていきたい。

日本独自の教育活動であり、文化でもある修学旅行。

その意義をあらためて認識し、生徒にとって貴重な体験の場＝“持続可能な修学旅行”の希求に努めたいと考える。

三地区の修学旅行委員会の委員各位、各府県市町村の中学校長会の皆様にはひとかたならぬお力添えを頂戴した。

あらためて深く感謝を申し上げますとともに、この調査報告書がこれからの修学旅行のさらなる発展・充実、そして“持続可能な修学旅行”実現のため、少しでもお役に立てれば幸甚である。

最後に、一昨年1月1日に発災した「能登半島地震」及び9月の豪雨災害により被災した方々に対し、心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧復興を祈念する。

# 2025(令和7)年度調査研究報告

2025(令和7)年度 修学旅行の実施状況調査

関東地区・東海地区・近畿地区  
各修学旅行委員会 集計・比較・考察

2026(令和8)年2月  
公益財団法人 全国修学旅行研究協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-6-8  
Tel : 03-5275-6651 Fax : 03-5275-6653  
E-mail shuryo@h2.dion.ne.jp  
URL <https://shugakuryoko.com/>

